

創域理工学研究科 社会基盤工学専攻授業科目表（修士課程）

【専門科目・修了所要単位数:26単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
専 門 分 野 (専 門)			
専門分野(選択)			
構造工学			
風と構造物	2		
振動と波動特論	2		
計測と解析	2		
土木工学と時事問題	2		
水工学・水文気象学			
水文気象学特論	2		
水災害と水環境	2		
流域水防災	2		
数値解析特論	2		
地盤工学			
地震地盤工学特論	2		
土木基礎工学特論	2		
土木基礎構造物の設計・施工	2		
軟弱地盤の課題と対策	2		
環境工学			
環境工学特論	2		
環境学特論	2		
流体拡散論	2		
交通計画学			
地域計画特論	2		
社会基盤整備と市民参加	2		
社会資本整備特論	2		
交通行動分析特論	2		
交通ネットワーク解析	2		
地球環境工学			
国土情報工学特論	2		
コンクリート工学			
コンクリート構造物の維持管理	2		
コンクリート技術特論	2		
専 門 分 野			
共通(必修14単位)			
文献研究及び実験研究1A	3		
文献研究及び実験研究1B	3		
文献研究及び実験研究2A		4	
文献研究及び実験研究2B		4	

【修了所要単位に含まない科目】

授 業 科 目 名	標準履修学年		教免区分
	1年	2年	
共通(随意科目)			
都市防災特論2	2		

【履修方法】

- 必修科目14単位及び一般教養科目を含めて30単位以上修得すること。
ただし、「都市防災特論2」については修了所要単位には含まない。
- 一般教養科目については、合計4単位を修得すること。
ただし、2単位以上は教養（共通）科目から修得すること。
また、4単位を超えて修得した単位は修了所要単位には含まない。
表中※印の横断型コースオムニバス科目については、2単位まで修了所要単位として認める。
なお、教養（共通）科目には、所属専攻以外の専攻課程及び他の研究科で修得した教養（共通）科目の単位も含める。
- 他専攻の随意科目を履修した場合、自専攻でも随意科目となり、修了所要単位に含めることはできない。
- 研究科の定めるところにより、次に掲げる授業科目を履修することができる。
(1) 所属専攻以外の専攻課程による授業科目
(2) 他の研究科の授業科目
(3) 他大学の大学院の授業科目
(4) 学部の授業科目
(1)～(3)に規定する授業科目において修得した単位は修了所要単位として認定できる。ただし(3)は15単位を限度とする。

【一般教養科目・修了所要単位数:4 単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
選 択 必 修 科 目 (4単位)			
教養(共通)			
自然を学ぶ科目群			
Basic Biomedical Science	2		
固体地球科学概論	2		
人間と社会を学ぶ科目群			
人文学系			
異文化セミナーA	2		
異文化セミナーB	2		
社会科学系			
国際経済学特論	2		
経営行動科学特論	2		
社会的選択理論およびマーケット・デザイン	2		
キャリア形成を学ぶ科目群			
知的財産系			
知的財産特論	2		
知的財産と法制度	2		
キャリアデザイン系			
実践的リーダーシップを学ぶ	2		
生命保険数学	2		
外国語を学ぶ科目群			
英語系			
Presentation Skills	2		
Academic Writing	2		
Critical Thinking	2		
領域を超えて学ぶ科目群			
科学技術社会論系			
科学・研究と倫理	2		
情報学・環境学系			
環境政策論	2		
統計解析	2		
防災地学特論	2		
健康・スポーツ系			
運動処方実践演習	2		
生涯スポーツ実習1	1		
生涯スポーツ実習2	1		
ゼミ・特別講義系			
がんを知りがんと闘う	2		
エネルギー環境セミナー1	1		
エネルギー環境セミナー2	1		
防災科学概論	2		
創域融合特論A	1		
創域融合特論B	1		
医理工学特論※	2		
エネルギーシステム工学特論※	2		
農理工学特論1※	2		
都市防災特論1A※	2		
都市防災特論1B※	2		
宇宙理工学概論※	2		
DX特論※	2		
人間安全衛生特論※	2		
教職教養専科A	2		
人間安全理工学セミナー1	1		
人間安全理工学セミナー2		1	
教養(他分野)			
宇宙教育プログラム講義及び演習	2		